



校長室 だより
 尼崎市立常陽中学校 No.14

平成28年1月19日
 校長 小谷 豪郎

皆さん知っていますか「尼崎市民憲章」

「尼崎市民憲章」って知っていますか？

1. わたくしたち尼崎市民は
よく話し合い 理解をふかめ 責任を持って行動しましょう
2. わたくしたち尼崎市民は
きまりを守り 秩序をたもち 平和な社会をつくりましょう
3. わたくしたち尼崎市民は
環境をととのえ 花と緑をそだて きれいな町をつくりましょう
4. わたくしたち尼崎市民は
教養をたかめ 善意をひろめ みんなの幸せをきずきましょう
5. わたくしたち尼崎市民は
健康ではたらき 生活をたのしみ 青少年をすこやかに育てましょう

市民としての誇りと愛情を持って、みんなで考えみんなでやるべきよりどころを、以上の五つの項目にまとめ、平和を愛し、民主的精神にもとづき、それぞれの責任において、この「市民憲章」を実行していきましょう。ということで1966年の市政50周年の記念として制定されたそうです。

皆さんも知っていると思いますが、国道沿いの校舎2階に横断幕を掲示しているとおり、今年は、市政100周年の年にあたります。「知れば知るほど“あまがすき”」このテーマで様々な行事や事業が行われます。この機会に50周年に制定した「尼崎市民憲章」を読み直し、自分の生活を振り返ってみるのも良いのではないのでしょうか。

社会力育成事業・指定校発表会



尼崎市では、学級や学年といった集団の中で、子どもたちが望ましい人間関係を築く力を育むとともに、身近な自治活動である生徒会の活性化や地域・社会への主体的な参画等、行動することによって学ぶ力の育成を目指す取組を中学校9校が指定を受け実施しました。本校指定を受け、夏には全中学校の生徒会が一堂に会し研修会を実施し、それぞれの学校・地域での課題を見つけその課題解決に向けそれぞれが取り組んできました。

本校では「自転車運転時の交通マナーの向上」をテーマに啓発活動の一環として文化発表会の『生徒会劇』として、全校生徒や保護者・地域の方々に向けて取組内容を紹介しました。その啓発方法が他校にはない取組として評価が高く、モデル校として発表させていただきました。旧生徒会執行部の皆さんご苦労様でした。



1・17は忘れない。防災訓練実施

阪神淡路大震災が起きてから21年が経ちます。今年尼崎で成人式を迎えた若者たちは、丁度この震災があった大変な年、平成7年に生まれた人達でした。

この震災当時、私はこの常陽中学校に勤めていました。地震の揺れが治まり、危なくないように、倒れた食器棚から家の中に散らばり割れたガラスや瀬戸物の破片を片付け、バイクに乗って学校へ行くと、プールの南東の交差点の上に、新幹線の橋桁が落ちていて、線路が空中に浮いていたのが見えました

校区内を巡回し、生徒たちの安全確認に回りましたが、漏れたガスの臭いがある中、つぶれたアパートの1階部分に、生き埋めになっていた生徒が助け出されていました。皆さんには、想像のできない世界だと思いますが、ここに生まれた者として、自分の命を守ること、次の世代の命を守るためにも、伝えて行かなければなりません。

最後は県の震災・学校支援チーム「EARTH」隊員の三浦先生のお話でした。

おめでとう！ 嬉しいお知らせです

本校吹奏楽部の部長である、2年2組の安岡奈央さんが、第21回KOBEL国際音楽コンクール、金管楽器部門のB部門で『最優秀賞』に輝きました。この部門には、県立西宮高等学校の音楽科で専門的な学びをしている生徒や、私学の吹奏楽部で全国大会出場を目指すような学校から中高生が集まり、同等に評価されるというレベルの高いコンクールです。

これを機会に、本校吹奏楽部の他の部員たちも、安岡さんに続けと「東兵庫ソロコンテスト」から、「関西大会出場」へと、目標を掲げて猛練習中です。頑張り！チーム常陽！



《今月の言葉》

『 ありがとう、心に、ことばに、行動に 』

人から感謝されると、嬉しいものです。

その喜びを、周りの人にも広げていきましょう。